

一月

2022 vol.279

しらかみ

白神山地を背に営む農業と生活の応援団



特集

- ① 新年のごあいさつ
- ② 日本食の行事カレンダー



JAグループ秋田キャッチフレーズ

いいねをいっぱい届きたい



山がいい
水がいい
大地がいい



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

地域農業の持続的な発展と 地域社会の持続性を 維持するために 挑み続けます!

一陽来復の春 謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

組合員並びに日頃より当組合を御利用頂いております皆様には、輝かしい令和四年の幕開けを健やかに迎えのことに、謹んでお慶び申し上げます。

また、事業運営にわたりまして、格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、未だ猛威を振るい続ける新型コロナウイルス

進む当地の農業とそれを支える農機具や創意工夫された使い方、技術を多くの方々にお示しできたことが、各地域の農業振興に寄与し、秋田県農業並びに地域経済の更なる振興の一助なったのではないかと自負しております。

これもひとえに、催行にあたりご尽力くださいました能代市をはじめ地元協賛会の皆様、各種出品展示に御協力くださいました農家組合員の皆様の御支援、御協力の賜物と、重ねて深く感謝申し上げます。

さて、昨年4月に東能代地区に着工した新本店新築工事は、JA全農東北広域施設事業所様をはじめ、工事関係者各位の御尽力により、昨年未現在で工事出来高80パーセントを超え、今春3月24日の竣工予定に向け事故もなく順調に、施工されております。

同月28日から運用開始する新本店は、管内農業の発展と、地域の活性化の要としての期待を背負った重要な施設となります。

組合員や地域利用者に新しい協同活動の拠点として、なくてはならないJAあきた白神の役割を将来に渡って担い、組合員や地域の皆様に親しまれ、永くご愛顧頂けるよう、より質の高いサービスを提供するため有効に活用させていただきます。

結びに、組合員をはじめ地域の皆様の負託に応え、存在意義のある組織として生き残るために「何を成すべきか」を皆様と共に協議し、地域農業振興を最優先に、本年も引き続き日本一のJAを目指して着実に前進させ、皆様が安心して暮らせる地域社会を築けるよう鋭意努力して参りますので、事業運営への変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うとともに、輝かしい令和四年の皆様の新たな門出が、明るい未来につながることを御祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。

ルス感染症の影響により、人や物の動きが停滞し、国内経済が低迷するなど気持ちが沈む雰囲気が長く続いております。しかし、手洗いやマスクなどの感染防止対策の徹底や、ワクチン接種の普及などで、新規感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されるなど、僅かながら明るい兆しも見えてきました。当組合の事業運営は総代会等の規模縮小開催や、各生産部会講習会など主要行事の中止、首都圏市場など取引先への営業等の自粛により厳しい事業展開となり、特に販売事業においては、外食需要の減少等により多大な影響を受けました。組合員や地域の皆様には、御不便と御心配をお掛けしたことについてお詫び申し上げますとともに、御理解と御協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

と存じますが、農家組合員の皆様の懸命なご努力により、多数の秀でた農作物を出荷頂きましたことに、改めて敬意を表するとともに感謝申し上げます。

昨秋には、「白神の空にとどけ! 豊稔の祈り。大地の恵みを、能代から。」のキャッチフレーズのもと、第144回秋田県種苗交換会が、能代市で9年ぶりに開催されました。農産物出品展示会場には、管内からは201点が出品され、農林水産大臣賞を受賞した「白神ねぎ」や収穫時期を交換会に合わせ出品した「白神山うど」など、白神ブランドの品質と栽培技術の高さを、会場に訪れた約40万人の来場者に十分に示すことが出来ました。

種苗交換会はコロナ禍の影響により、例年通りの開催とはならず、規模を縮小しての開催となりましたが、秋田やまもと農業協同組合様との協賛イベント「おらほの農機展示会」では、県内でも先進的に複合経営、畑作物の生産拡大が

謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



代表理事組合長

佐藤 謙 悦

理事

工藤 巖

代表理事専務

工藤 寿博

理事

小川 繁

常務理事

伊藤 淑人

理事

石山 淳子

理事

戸松 博美

理事

佐藤 静子

理事

池端 勝尚

代表監事

桂田 和弘

理事

茂呂 誠

常勤監事

松嶋 須直

理事

藤田 祐紀

監事

塚本 幹夫

理事

永塚 誠司

員外監事

石郷岡 章

理事

男鹿 栄子

本誌をもって、年始のご挨拶とさせていただきます。

一月

正月 ● 雑煮
7日 ● 七草がゆ
15日 ● 小豆がゆ

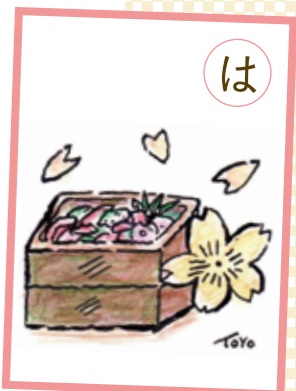


雑煮は室町時代、京都で生まれたといわれる。今は家内安寧、家業繁盛など人それぞれの願いを年神様に祈り祝う。七草がゆは平安時代、殿上人の叙位の日に当たり、名を成すに掛けて食したそう。15日の小豆がゆは豊作を祈って奈良時代から食している。

四月

花見 ● 花見弁当

人はなぜかかすみたる空にはんなりと咲く妖艶な桜の花に酔う。元禄の頃、旦那衆の花見弁当は豪華だった。欠かせないのは桜餅。江戸は小麦粉の焼き桜。上方(京坂)は蒸した道明寺粉。塩漬けの大島桜の葉がかぐわしい。



二月

節分 ● いり大豆
イワシ



大阪では大正時代、イワシと麦飯を食って長寿を祈った。玄関にイワシの頭とヒイラギを飾るのは臭いととげで病魔を追いやるため。イワシの頭も信心から。

三月

ひな祭り ● まぜずし・貝料理
春の彼岸 ● ぼた餅



まぜずしに上置きする錦糸玉子、紅しょうが、絹さやなどの彩りは春の明るさを表現する。貝は家持ちで金に関する漢字が多い。「入るを企(はか)って出るを制せば財を成し、散財すれば貧する」。春の彼岸は花の季節に合わせてばた餅。

五月

こどもの日 ● ちまき
かしわ餅



ちまきは弥生時代からある。粽(ち)菅(がや)で角形の筒を作ってもち米を入れた。今はうるち米の粉(うるち米の粉ともち米の粉を混ぜたものもある)を用い、ササの葉で包む。ササの爽やかな香りで保存性を高める。かしわ餅は江戸中期から。西日本にはサンキライの葉を用いる土地もある。

六月

茅(も)の輪くぐり ● 水無月(外郎(うらう))
夏至 ● タコ



雨が多い月なのに水無月とはこれいかに。行事食は少ないが、京都では甘煮の小豆を散らした水無月と呼ぶ菓子を食べ。残り半年の無事を祈るためだ。土地により、夏至にタコを食す。

七月

七夕(しちせき) ● そうめん
『万葉集』 ● ウナギ



なぜ、たなばたという。飛鳥・奈良時代、神に供える絹布を織る機をいった。織る女の技術の上達を乞い、索餅(さくべい)・そうめんの祖(そ)を糸に見立ててけん牛、織り女の両星に供えた。ウナギは「夏痩せによし」と言ふものぞ鰻(むなぎ)取り召せ」と『万葉集』にある。

八月

盂蘭盆会(うらぼんえ) ● 精進料理



お盆は先祖の供養だけではなく、夏作物の収穫祭でもあった。精進料理を作って供え、かつ食した。今は作る家は少ない。精進揚でも作って盛夏を乗り切りたい。タンパク質や炭水化物など以外に油脂も大切。油断大敵というではないか。

日本の行事食 カレンドー

私たちの歴史・文化を見直そう

季節ごとの行事やお祝いの日に食べる特別な料理、「行事食」を通じて私たちの歴史や文化を再確認してみませんか。

監修・奥村彰生料理スタジオ
イラスト・とよだ時

十一月

七五三 ● 千歳あめ



日本人は奇数を好む。3歳の女兒、5歳の男児、7歳の女兒の健やかな成長と守護を願って宮参りをする。お土産は千歳あめ。始まりは18世紀初頭。江戸・浅草のあめ売りが千歳あめと文字を入れたあめを長袋に入れたのが始まり。

十二月

大みそか ● みそかそば

昔、江戸では大みそかは借金の取り立て日。庶民はツケで買い物をした。支払いは盆と大みそか。商人はツケの回収に必死。無事終わり、ヤレヤレと出前のそばを食べ新年を迎えた。「安堵(あんど)して年越しそばを食う夜かな」の川柳あり。

九月

重陽の節句 ● 浮き菊の酒
月見 ● 萩の餅

奈良時代、杯の酒に菊の花弁を浮かべて長寿を祈った。菊なますもうまい。月見にススキを飾り、月見団子を供え、萩の餅は好物で共に手作りして一家だんらん。そんな心の余裕が欲しい今。



十月

秋祭り ● 小豆入りおこわ(赤飯)

おめでたい日に作るおこわの中で、ふくいくとしたもち米と小豆の香が秀でているのは新物で作る秋祭りの頃。小豆のゆで汁を練れば練るほど赤い色が映えた。添えるごま塩の黒は小豆の色を際立たせる。アワ蒸しもいい。



み



※行事食の由来には諸説あり、使用する食材も地域により違いがあります。



新車のトラクターに乗って記念撮影



J A全農あきた農機製品倉庫で行われた寄贈式



報道陣のインタビューに堂々と答える野呂君

能代科学技術高校に共同購入トラクター寄贈

12月7日に能代科学技術高校など農業分野の学科やコースがある県内3高校にJA共済連秋田から農業実習用トラクター1台（共同購入トラクター）を寄贈しました。将来の農業を担う人材の育成を目的としたJA共済連秋田の地域貢献活動の一環で行われた寄贈式典には、県教育庁の渡辺勉高校教育課長のほかJAや各校教諭や代表生徒らが出席。目録を受け取った教育庁の渡辺課長は「生徒の就業意欲を喚起させるためにも、有効に活用させていただきます」と謝辞を述べました。

能代科学技術高校の野呂明澄君（3年）は「現在の実習用トラクターは老朽化が進んでいるので、新車のトラクターで実習授業をやってみよう」と、連転席に座ってレバーの位置の確認やハンドルを握るなどして喜んで表情を見せてくれました。

全県JA青年部盟友が集い叢智と行動力を結集!

秋田県でJA青年大会が12月2日に開催され、当青年部（山谷清貴部長）から6人が出席しました。県JA青年部協議会佐藤委員長は「若手農業者が集って、対話・協力することが強い農業をつくり『持続可能な農業の実現』の一歩となる」とあいさつ。

JA青年部主張発表大会では二ツ井支部の山谷啓太さんが登壇し、「仲間をつくる」と題して就農したばかりで不安であった時に心の支えとなったのが青年部員との存在や地元の間柄が密に携わっていく自分にとり、青年部員とのつながりを大切にしようとする方々とも積極的に交流を図って農業の立場から地域振興の役割を担ってほしい」と力強く発表してくれました。



力強く主張する山谷さん

食べてくれた方に感謝! 女性部員に感謝!!

管内で様々な催しが開かれ、大盛況のうちに幕を閉じた。第144回秋田県種苗交換会。身も心も温まる愛情たっぷりの「ざりたんぼ」と「味噌付けざりたんぼ」を提供した女性部員による報告会が12月3日に開催されました。

佐々木博子部長は「各支部の女性部員から期間中ご尽力頂いた本当に感謝。お客様の九割以上の方がスープまで飲み干してくれたことが本当に嬉しかった。それだけ満足させて味付けに一週間仕立てた女性部員個々の料理の腕前に本当に感謝した。これからも家庭の味、地域の味を守りつつ、活動を通じて食文化を継承していきたい」とあいさつ。

参加した女性部員からも「皆で協力しながら楽しく一週間で過ごすことが出来た。」と満足した表情を見せてくれました。



「感謝」というフレーズを何度も口に出す女性部長



上位5点は「サザ」プレミアム「ファイブ」として有利販売



「美味しい“あきたこまち”コンテスト」白神管内2点ノミネート!

J Aグループあきたは12月9日「秋田米フォーラム2021」を秋田市で開催しました。県やJA、生産者など約150人が参加。このフォーラムは、県産米の更なる高品質・良食味米生産への意識醸成を目的に毎年開催されているものです。

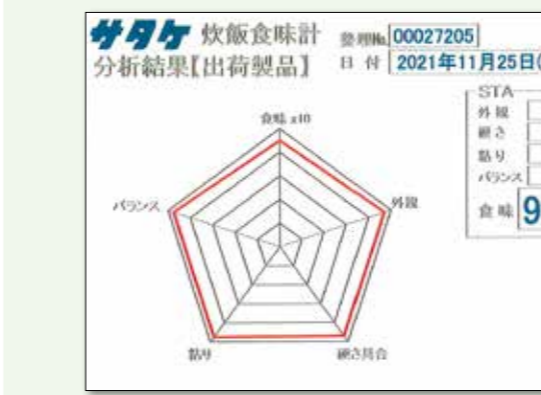
フォーラムの中では、令和3年産米「美味しい。あきたこまち」コンテストの表彰式が行われ、全県から選抜された83点の中から12点に絞り込まれた選考会において、当組合から（農）しのめはら（代表理事 森道夫）と萩原勝則さん（米代1区）がノミネートしました。結果は堂々の優良賞を受賞されました。

受賞した萩原さんは「これまで水管理と土作りにはこだわりを持って取り組んできた。更なる高品質米を栽培できるようにこれからも継続して取り組んでいきたい。」、（農）しのめはらの米屋正志さんは「育苗期から刈取り期まで、常に徹底した作物と会話をしてきた結果が受賞へとつながった。来年産も会話をしながら更なる高みを目指したい。」と両者ともに来年産に向けた抱負を力強く語ってくれました。

コンテストで優秀な成績を収めた生産者の栽培方法の事例は県域で共有されることとなります。このほか、「秋田県土壌の変遷と食味向上対策」と題した基調講演なども行われました。



「優良賞」受賞の農しのめはら 森代表理事(右)と米屋さん(左)



「優良賞」を受賞した萩原さん

市場評価を高める販売力の強化と関連するコストの削減を通じて
 農業者の所得増大を確実に実現します。

『収入の増加 - コストの減少 ⇒ 所得の増大』

県1JAが進むステージ

経営理念と基本姿勢を永続的に追及するには、合併を目的ではなく「はじめの一步」として捉え、5年後、10年後の姿を想定した段階的な目標設定を目指します。

合併	ステージ		
	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ
組合員	激変緩和対応期間	合併効果の実現	更に目指すべき姿
事業	合併しても変わらない安心感 「合併しても身近で利用しやすい!」	合併のメリットを実感 「秋田産が盛り上がりつつある! 資材は安くなった!」	新JAへの更なる期待 「JAへの期待がますます深まっている!」
体制	事業ボリュームの維持 混乱を抑える人員配置、分掌 合併時コストの適正支出	部門別場所別損益の改善 事業の見直し 指揮命令系統の最適化 人員配置の見直し	部門別場所別損益の確保 指揮命令系統の確立 新たな事業への取り組み
	地区本部制の浸透 役員等組織体制の浸透 弊害を最小限に抑える体制づくり	地区本部数、体制の見直し 役員定数の削減 地区本部から本店への業務集約	事業部制等への転換 新たな体制への対応

県1JA組成にかかる想定される懸念事項

- 県1JA組成において、組織の大規模化等に伴いマイナス材料が生じる可能性も想定されます。「県1JA」構想では、これらの懸念事項も考慮したうえで対応を策定して参ります。
- ①県全体をエリアとするJAとなるため、地域特性が薄れる事への懸念
 - ②地域の実情に応じた意志反映や組合員ニーズの把握低下への懸念
 - ③支店・購買店舗・営農関係施設・職員の再配置や機能集約による利便性低下への懸念
 - ④大規模化することで、本店・地区本部間での意思疎通の不十分さ、責任のあいまいさ等が生じ、JA運営に支障が生ずる懸念
 - ⑤JA間での異なる項目(会計処理基準等)や事務処理の統一により、一時的に多額の費用が発生する懸念

※上記、座談会資料(県1JA基本構想(素案)令和3年8月17日版)より抜粋



座談会資料は左記QRコードからダウンロード頂くか、
 最寄りの当組合各事業所へお問い合わせ下さい。



この度の集落座談会にご出席くださいました組合員の皆さまから頂戴した貴重なご意見・ご要望とその回答内容については、重複する内容等集約したのち、広報「しらかみ」2月号2022. vol. 279(令和4年2月15日発行)にておつなぎいたします。

集落座談会で頂戴したご意見・ご要望(抜粋)

- 「よりちかくに」をモットーにしているが、合併により支店や購買店舗が統廃合となり不便になるのではないかと?
- 将来的には合併は必要と思うが、組合員に不便がないよう取り組んでもらいたい。

合併に関する事項のほか、事業運営に関するご意見やご要望がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

集落座談会開催



『ひとつになれば さらにできること』を模索



12月3日からの5日間、管内の37集落を会場に集落座談会を開催しました。コロナ禍の影響等により約2年ぶりの開催となりましたが、年末で慌ただしい中多数の組合員の皆さまよりご参加いただきました。

今回の集落座談会では令和6年4月を目標にした県内JAの合併(県1JA)の進捗状況についてJAグループ秋田組織再編協議会が作成した「県1JA基本構想(素案)」「県域JA農業振興計画(素案)」「令和3年8月17日版」を基に現状を報告。

佐藤組合長は「今後も引き続き合併に関する話し合いの場には立つことを検討しているが、決して

「合併ありき」での参加ではなく、山積する検討すべき課題を一つ一つクリアしながらも、今、農家組合員に確実にメリット還元できる方策が一つでもあれば先行して取り組んでいきたいと思う。今後、協議された事項は組合員の皆さまにお繋ぎしながら、合併についての最終判断は組合員の皆さまに仰ぐこととなりますのでよろしくお願いたします。」とあいさつ。

参加者からは、合併に対する期待感や不安に思う事、世界的な原油高騰による営農資材等の高騰問題、今話題の新品種「サキホコレ」の状況など、貴重なご意見・ご要望を述べて頂きました。



大得

「農業者所得の増大」、「農業生産の拡大」を目指して、
我々TAC職員が今年も皆さまに有益な情報をお届け致します！
今年もよろしくお願致します！

号外

TAC
耳寄り
情報

新春
初売り



超大型規格で初の園芸剤が登場しました!!

バスタ^{液剤} 40L

お得と使いやすさを兼ね備えた10Lの4本セットです



多くの作物に登録があり、
いろいろな場所に使える
バスタ液剤がオススメです。

40L 111,700円(税込)
(1L換算 2,793円(税込))

先着25名様に
「今治タオル」
プレゼント!



商品に関するお問い合わせは 経 済 課：0185-55-0777 ニッ井配送センター：0185-73-2724
直接こちらにご連絡下さい→ 能代配送センター：0185-58-2022 藤里営農センター：0185-79-1644

Mama's キッチン

女性部 能代支部 鶴形地区

千切り白菜の豚バラ巻き



■材料(3~4人分).....
白菜...1/4個(千切り)
豚バラ肉...450g(薄切り)
塩...適量
黒コショウ...適量
酒...小さじ2
ポン酢...大さじ3
ごま油...大さじ1
すりおろしショウガ...小さじ1
白神ねぎ...適量(小口切り)

■作り方.....
(1)豚バラ肉に塩、黒コショウをふりかけ、白菜を手前
にのせて巻く。
(2)耐熱皿に余った白菜を敷き詰め、その上に(1)を並
べて酒を全体にかけ、ラップをし、電子レンジ(600
W)で4分程度加熱する。
(3)(A)を混ぜ合わせ、(2)にかけて完成です。

■ポイント.....
ドレッシングはお好みで胡麻ダレなどにアレンジし
てお召し上がりください。

■材料(2~3人分).....
白神きゃべつ(芯を除く)...240g(一口大)
人参...30g(細切り)
塩...小さじ1/2
ツナ缶(油漬け)...1缶(オイル含め40g)
砂糖...小さじ1/2
Aコープほめられ酢...少々
(A) 塩...小さじ3/8
オリーブ油...大さじ2と1/2
黒コショウ...少々

■作り方.....
(1)白神きゃべつと人参を塩で軽く揉み茹でる。人参が
柔らかくなったらザルにあげ、粗熱を取り、しっか
りと水気を絞る。
(2)ボウルに(A)を入れ、マリネ液を作る。(1)を入れてよ
く和えてからお皿に盛り付けて完成。

■ポイント.....
冷蔵庫で冷やしてからおいしくいただけます。

『白神きゃべつ』とツナのマリネ



あきた白神女性部の米消費拡大運動



あつ、「おむすび」
食べよう。

「いぶりがっこ」と
「味噌漬け」の
おにぎり

A賞

【1名】



**アイリスオーヤマ
加湿空気清浄機**

- ・空気清浄空気の汚れに応じて運転を自動切換え。高感度ホコリセンサーで空気の汚れを測定。汚れの度合いに応じて運転を切り替えます。
- ・加湿センサーでちょうどいい湿度をキープ。湿度センサーでお部屋の湿度を測定。加湿ON/OFFを切り替えながら加湿量を調節し、目標湿度50%をキープします。運転開始と同時にマイナスイオンを発生。

**お年玉
プレゼント豪華賞品を
Getしよう!!**

B賞

【1名】



**シチズン
上腕式血圧計 CHU302-CC**

ワンボタン操作のシンプルモデル

C賞

【2名】



**ライオン
トップスーパーナノックスギフトセット**

食べこぼし汚れ洗浄力UPの為の酵素を新配合、又、汚れブロック効果を持つ成分を市場最大濃度配合。

D賞

【3名】



**白神ねぎ
ギフトセット**

白神ねぎの他に、白神ねぎの加工品が3点詰め込まれたセットです。

E賞

【5名】

全国共通図書カード1,000円分

図書カード：このマークのある全国の書店店頭でご利用できます。

応募要項

- ① クロスワードの答え
- ② まちがいさがしの答え
- ③ 今年の抱負
- ④ ご希望の賞品名(例「A賞希望」)
- ⑤ 住所
- ⑥ 氏名
- ⑦ 年齢
- ⑧ 電話番号
- 宛先
〒016-0816
能代市富町2-3
JAあきた白神広報クイズ係
- 締め切り 1月31日(月) 必着
- 2つとも正解された方の中から、各賞抽選でプレゼントします。なお、当選者は広報しらかみ2月号に掲載いたします。

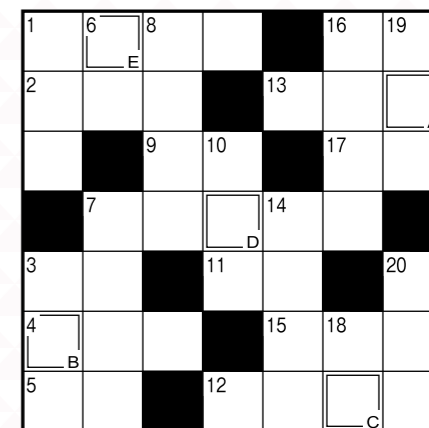
新春

**JAお年玉
プレゼントクイズ**

日頃からの感謝を込めて、お年玉プレゼントクイズを行います！
『クロスワード』と『まちがいさがし』の2つを解き、
ご希望の賞品を明記のうえ、どしどしご応募ください!!

クロスワードパズル

二重枠に入った文字をA→Eの順に並べてできる言葉が答えです。



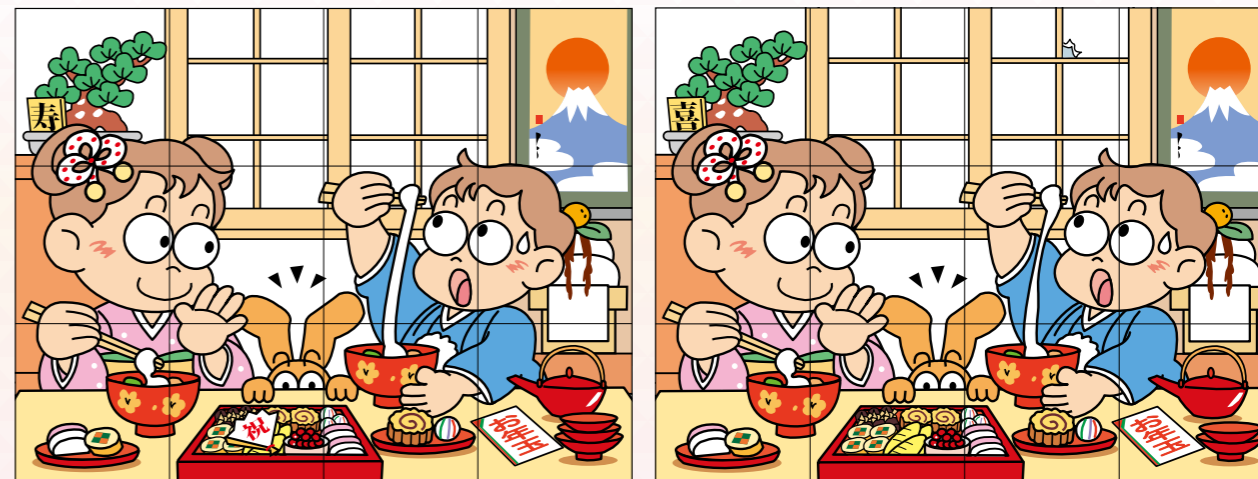
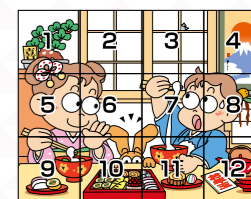
答 A B C D E

- タテのカギ**
- 01 オイルショックともいわれる—危機
 - 03 分度器で測ります
 - 06 栗の実のトゲトゲ
 - 07 春の七草の一つ。ダイコンのことです
 - 08 遊園地で—コースターに乗った
 - 10 おでんに添える黄色い薬味
 - 14 年下の女きょうだいのこと
 - 16 屋外で行うことも多い教科
 - 18 ミカンのものは手でむけます
 - 19 おしゃれな—でランチを楽しんだ
 - 20 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえば

- ヨコのカギ**
- 01 1月の第2月曜日は—の日。国民の祝日です
 - 02 旅支度で、旅行かばんに—を詰めた
 - 03 下手な鉄砲も—撃ち当たる
 - 04 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
 - 05 水が混じって柔らかくなった土
 - 07 これが三つで三振
 - 09 土を盛り上げて作ります
 - 11 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
 - 12 「住めば都」とか「猫に小判」とか
 - 13 果物—を使ってリンゴをむいた
 - 15 遠回りをする事
 - 16 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
 - 17 やっぱり自分の—が一番落ち着くなあ

まちがいさがし

した下のイラストには左右それぞれ違うぶぶん部分が5カ所あります。まちがっている部分を右のイラストの中の数字で教えてください。



Contents

- 02 | 特集① 新年のごあいさつ
- 04 | 特集② 日本の行事食カレンダー
- 06 | あきた白神トピックス
- 10 | Mama'sキッチン
- 11 | 号外 TAC耳寄り情報
- 13 | JAお年玉プレゼントクイズ
- 14 | JAからのお知らせ

領収書や受領書は信頼のあかし

当JAではご利用いただいた方々から現金などを受け取ったとき、必ずその場で領収書や受領書を発行することを職員に徹底しています。もし、発行忘れや内容に不備がございましたら遠慮なく申し出て頂くようご協力をお願い致します。

領収書の記載や押印のご確認について

- ①領収日 ②お名前 ③摘要 ④金額
- ⑤部署名 ⑥公用印 ⑦取扱者印

特に部署名の記入や取扱者印の押印については誰が受け取ったのかを特定する重要な部分ですので漏れがないかご確認ください。

JA相談窓口をご利用下さい

当JAでは、電話による皆様からのさまざまな苦情や相談を受付する専用窓口を設置しております。寄せられた苦情や相談などに対し誠実に対応してまいりますので、遠慮なくご利用下さい。

連絡先(フリーダイヤル)

0120-918-371

編集後記

今年の干支「寅年」は、成長していく年、これから成長する物事の象徴が生まれる年とされているようです。新本店建設もトラブルなく完成間近となり、まさに当地のための年がスタートして感じます。固定観念にトラわれず、積極的にトライする一年にしたいと思います。本年も広報しらかみをよろしく申し上げます。皆さまが笑ガオ〜に溢れた、ウルトラ〜ハッピーな一年となりますことを御祈念申し上げます。

(小沼直久)

行事予定

- 1月7日 女性部ニツ井支部冬季講座
- 11日 女性部藤里支部冬季講座
- 17日 白神山うど目揃会
- 20日 ねぎ部会実績検討会

キャッシュカードをなくしたとき

JAバンク・キャッシュカード紛失共同受付センター

☎0120-411-180

JAカード一体型をなくしたとき

☎0120-159-674

◎営業時間内は各支店窓口にお問い合わせください。

万が一、事故が起きたとき

JA共済事故受付センター

☎0120-258-931

◎営業時間内は0185-52-5193(共済課)までご連絡ください。

秋田の

1日農業バイト

あなたへの休みの日だけ

その仕事 手伝わせてください

農家さんいつもありがとうございます



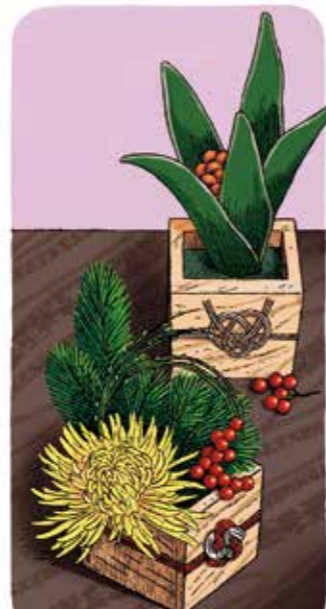
iPhone/iPad App Store

Android Google Play

お正月

季節の室礼(しつらい)

新しい一年のスタートです。気温が低いので場所によっては長く切り花を楽しめるこの季節。正月花は豪華でいつもよりちよつと値の張るもの。新年は華やかに大きく飾り、松の内が明けたら小分けに生け直して、2度3度と楽しみましょう。柳は寒中先駆けて芽吹くので「お芽出たい」木とされていきます。強くしなやかで折れにくいことから、祝い箸にも使われやすよね。家内喜と書かれることも。縁を結ぶ結び柳にして飾るといいでしょう。菊は丈夫で長持ちのする花材ですが、茎を切らずに手折るとよく水が上がりません。松も常緑で水を替えれば春先まで持ちます。



和文文化講師●滝井ひかる

ちなみに喪中でも生けていいのがオモト(万年青)。一年を通して青々と緑を保ち続けることから縁起が良いとされています。徳川家康が江戸城に入城した際に運ばれたので、引越しのときに最初に運び込むと安泰が続くといわれています。小さく生けるのに便利なのが、100円ショップなどで売っているプラスチック製の「升」。ミニ剣山かフラワーアレンジメント用の吸水スポンジを置いて水を入れます。木の升も風情がありますが、水漏れが心配なら中に別の水入れを置くといいでしょう。升の周りに水引を結ぶと雰囲気が出ます。お正月以外の行事でも升を再利用してくださいね。


進めよう! 国産消費国

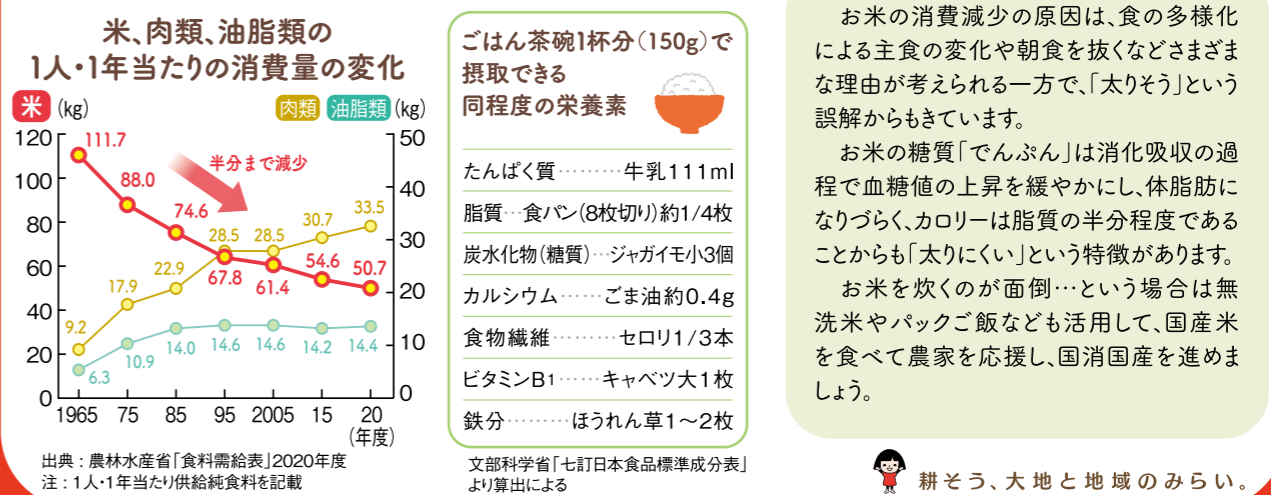
国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産

[今回のテーマ]

日本人がお米を食べなくなっているのは本当?

日本人の主食として欠かせない食材ですが、国民1人・1年当たりの消費量は、約50年で半分以上まで減っています。





- ごはん茶碗1杯分(150g)で摂取できる同程度の栄養素
- たんぱく質……牛乳111ml
 - 脂質……食パン(8枚切り)約1/4枚
 - 炭水化物(糖質)……ジャガイモ小3個
 - カルシウム……ごま油約0.4g
 - 食物繊維……セロリ1/3本
 - ビタミンB1……キャベツ大1枚
 - 鉄分……ほうれん草1~2枚

お米の消費減少の原因は、食の多様化による主食の変化や朝食を抜くなどさまざまな理由が考えられる一方で、「太りそう」という誤解から起きています。お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪になりづらく、カロリーは脂質の半分程度であることから「太りにくい」という特徴があります。お米を炊くのが面倒…という場合は無洗米やパックご飯なども活用して、国産米を食べる農家を応援し、国産消費を進めましょう。

耕そう、大地と地域の未来。



新春のおよろこびを
申し上げます

旧年中は何かとご高配を賜りまして誠にありがとうございました

本年も決意を新たに役職員一同

幅広い活動を展開し前進してまいります

何卒倍旧のご愛顧とご指導の程

お願い申し上げます

令和四年 元旦



あきた白神農業協同組合
役職員一同